

わが校の特色ある教育

串間市立金谷小学校 校長 伊豆本 勉

1 はじめに

本校は、本年度全校児童が35名の小規模校ではあるが、明治7年（1874年）創立で、次年度は創立150周年を迎える歴史と伝統のある学校である。串間市の南側に位置し、志布志湾に隣接した自然豊かで気候が温暖な地域であり、保護者をはじめ地域の方々も学校の教育活動に大変協力的で、学校の教育目標である「豊かな心を持ち、自ら考え、正しく判断し、進んで実践するたくましい児童の育成」の具現化に向けて教育実践を重ねているところである。

2 特色ある教育の実践

小規模校の強みを生かし、全職員が積極的に全児童に関わり、一人一人の個性を認め、称賛し、励ましながら伸ばしていくとともに、保護者や地域の願いにも応えながら連携することで、信頼される学校をめざす。加えて、児童一人一人に自分なりの夢をもたせ、夢の実現に向けて学力向上や凡事徹底を意識した教育活動を展開している。

特に令和5年度は、県から「循環型社会を実現する環境教育推進事業」の指定を受け、体験活動等の充実、学びの環境の整備等に取り組んでいる。年度当初から以下のような実践を行っている。

① 春の遠足でのクリーン活動

- ・春の遠足で、金谷の浜の海岸清掃を全校児童で実施

② SDGs セミナーの実施

- ・串間市市民生活課の協力のもと、「ゼロカーボンシティ宣言」の取組の学習

③ 校外学習「ごみの処理と活用」

- ・「黒潮環境センター」を訪問し、ごみの処理や活用についての学習

④ 空き瓶回収

- ・地域内を巡り、地域住民の方の協力のもと全校児童及び保護者で空き瓶回収を実施



① 海岸清掃



② SDGs



③ 校外学習



④ 空き瓶回収

3 おわりに

地域あつての学校であり、地域・保護者・学校の連携を密にしながら、共通理解・共通実践が大切であると考えます。常に、「主役は子供である。」「この活動は子供のためになっているか。」ということを実践の根幹として、チーム金谷として一丸となって地域を愛する人材・地域に貢献する人材・環境について考えることのできる人材の育成に向けて頑張っていきたい。